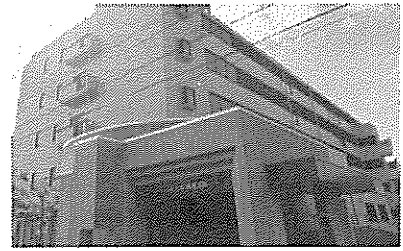


興那須塩原市)は昨年9月、一般介護マンションの一部を改修してサービス付き高齢者向け住宅(サ付き住宅)の運営を開始した。



マンションの外観



三海子
工藤海彦社長

これは1991年に竣工した全20戸の介護マンションの1階から3階までをバリアフリー化した。基本サービスとして、フロントサービス、タクシなど改修して、サ付き住宅にしたもの。同マンションは地元磯部建設ス、本人・家族承諾のも援する。

住戸は57平米から83平米と広々とした間取りを生かし、書斎を作ったり、家族を招いたりも可能。活動的で、自分の時間を楽しまたい自立高齢者を対象とする。

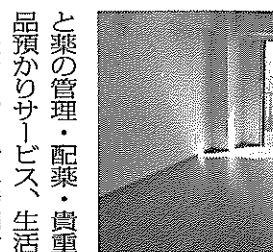
間取りは1LDKから3LDK。住戸はバリアフリー化したほか、引き戸、手すり、IHコンロを、訪問介護、居宅介護と話す。

支障、デイスサービス、福祉用具貸与などと連携も、「リフォームして活用してほしい」とサ付きト・マンションの空室を

活用して高齢者住宅を整備していきたい考え。

三海子としては、今後も積極的に既存の آپパト・マンションの空室を

三海子としては、今後にも積極的に既存の آپパト・マンションの空室を



分を充実させた。三海子の工藤海彦社長は「市内でサ付き住宅を1棟運営。最も重要なことは立地だと考えている。このマンションは徒歩10分以内で駅、銀行、スーパーなどが揃っている。また自然環境も良く、高齢者の住まいには好環境」だと話す。

（社）シェアハウス振興会(東京都杉並区)は、介護事業者が保険外事業に参入するケースが目立っているが、その中で多角経営の一環として一軒



山本 新也

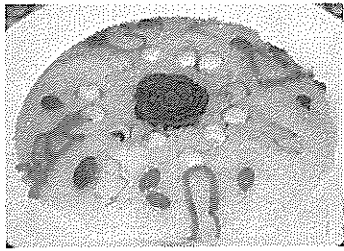
者を中心にシェアハウス発も計画している。「シェアハウスと介護サービスが追い付いていない。振興会の運営に関わっている14件の待機者は160名。入居者が確保しやすいため安定収入が期待できる上、職員のための住まいとして人材採用に生かせる」(山本久雄代表理事)

また、現在供給されているシェアハウスは、高齢者世帯での家事代行な年齢者が住み替えのために空き家となった一軒家を活用しているケースが多。地域で雇用を生み、活用しているケースが多。地域で雇用を生み、活用しているケースが多。

第19回 旧正月の慣習

今年も中国では、2月10日、落花生をいれて長寿を日か賑やかな春節(旧正月)が始まりました。大晦日、正月と上海の友人宅から招待を受け、中国のいろいろな「旧正月の慣習」を教えて頂いたのことで紹介します。

中国の旧正月は、全ての中国人にとって最も盛大で賑やかな祝日です。中国の大きな土地では、新年を祝う食べ物として、北部は餃子で南部は餅、団子や八宝飯を食べるそうです。北部のギョーザの由来は、金銭と財産の象徴としてギョーザの中に砂糖を入れて、来年の生活が砂糖のように甘



▲南部で食べる「八宝飯」

上海、最も賑やかに

ラードをかき混ぜ、蓮子(結婚)、夫婦(赤いナツメ(子供)、キンカン(縁起)、りゅうがんの実(家族)、甘いトウガン(生活)、ハトムギ(長寿、高尚・上品、清らか)、クアスの実(健康)を入れて、正月を家族みんなで祝います。

また旧正月の大晦日深夜から明け方まで爆竹、花火で街中は大変な賑わいになります。日本の敵かな新年の光景とはまさに大違い

中国の高齢者マーケット



ゲストハウス社長
松山英樹

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リノベーションシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

また旧正月の五日目にも財を象徴する神様を迎えるため、爆竹を鳴らします。この時の爆竹と花火が一番盛大で新年の盛り上がりクライマックスです。正月には工場が停止し、車も少ない上海では青空といつもと違う新鮮な空気でした。正月を明けたその日から街中がぼんやりと曇り大気汚染がまた復活した様相です。上海にお越しの際は必ずマスクをご用意ください。

また旧正月の五日目にも財を象徴する神様を迎えるため、爆竹を鳴らします。この時の爆竹と花火が一番盛大で新年の盛り上がりクライマックスです。正月には工場が停止し、車も少ない上海では青空といつもと違う新鮮な空気でした。正月を明けたその日から街中がぼんやりと曇り大気汚染がまた復活した様相です。上海にお越しの際は必ずマスクをご用意ください。

また旧正月の五日目にも財を象徴する神様を迎えるため、爆竹を鳴らします。この時の爆竹と花火が一番盛大で新年の盛り上がりクライマックスです。正月には工場が停止し、車も少ない上海では青空といつもと違う新鮮な空気でした。正月を明けたその日から街中がぼんやりと曇り大気汚染がまた復活した様相です。上海にお越しの際は必ずマスクをご用意ください。

災害対策研修会開催

GH協 3/8に

(社)日本認知症グループホーム協会(東京都新宿区)は3月8日、都内東日本大震災から多くの学ぶ研修会を開く。会場は新宿区の新宿文化センターで10時開始。定員は200名で参加費無料。

被災地からの事例報告や復興ライブ、同協会、災害対策報告・座談会、シンポジウムが行われ、会場は新宿区の新宿文化センターで10時開始。定員は200名で参加費無料。